



2011年 12月10日

みなさん、こんにちは。イルミネーションの季節が到来。今年は節電のために、LEDの電飾が導入されるところも多いようです。

### ● 『明石の古墳』展の関連展示 -県立図書館にて-



『明石の古墳』図録 1冊 600円

ただいま開催している『発掘された明石の歴史展 -明石の古墳-』（～18日、月曜日休館）にあわせて兵庫県立図書館で企画展示「弥生から古墳時代へ」が行われています。期間は、今月14日（水）まで。

場所は調査相談室と郷土資料室（ともに2階）で、それぞれコーナーをもうけて近畿地方や明石周辺地域の資料を展示しています。この機に、地域の古墳時代について調べるのに、どうぞご利用ください（図書館のお休みは月曜と第3木曜）。

また、『明石の古墳』展の図録（A4、67ページ）は、当館受付にて600円で販売中。過去の考古系の図録も（一部売り切れあり）販売していますので、手に取ってご覧くださいね。

### ● 新春特別展の話題① ～“きりかね”って、何？～

年内の展覧会は、開催中の『発掘展』（～18日（日）まで）のみとなりました。美術ファンの方や特別展の常連の方は、もう新春展に関心に移っているかもしれませんね。

来年1月7日から始まる新春特別展では、“きりかね”の作品をご覧ください。

漢字で書くと、「截金」。截金とは、“金を截る”と書くように、金箔（もしくは銀箔）を切って仏画や仏像の装飾に使うものです。飛鳥時代に盛んだった技術ですが、平安時代以降はすたれてしまいました。

新春特別展で紹介する人間国宝の齋田梅亭と西出大三は、截金の復興に努めた立役者です。この2人に加え、今回は截金で3人目の人間国宝である江里佐代子の作品も特別に出品します。

年の初めに、きらびやかで雅な工芸作品の数々をご紹介しますので、どうぞご期待ください。

#### 新春特別展

『金箔芸術の美 截金の人間国宝展 齋田梅亭と西出大三』

会期/2012年1月7日（土）～2月5日（日） 会期中無休



上) 齋田梅亭 截金菱華文飾篋

東京国立近代美術館蔵

下) 西出大三 木彫截金彩色「花蝶盤」